

1. 科目名 (単位数)	日本語教授法Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	EIJP3354
2. 授業担当教員	野口 芙美		
4. 授業形態	講義、討論、発表、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「日本語教授法Ⅰ」、「日本語教育の理論と方法」を履修していること。		
7. 講義概要	日本語教授法Ⅰで培った日本語の基礎知識を踏まえて、日本語教育においてどのような教育方法が望ましいかを追求していく授業である。さまざまな教授法の長所を生かし、より良い教授法を模索していくことが重要である。 日本語教育の現状の分析に基づき、言語教育理論の成果も取り入れて、教授法の理論とその実践方法を学習していく。また、模擬授業はグループごとに課題を行う。その後フィードバックや討論を行い、各自がレポートにまとめて提出する。		
8. 学習目標	1. 日本語教師の役割と、日本語を教えることの目的や意義を理解できる。 2. 初級と中上級の教え方の違いについて理解できる。 3. 中上級の聴解・会話の教え方について理解し指導できる。 4. 中上級の読解の教え方について理解し指導できる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. 授業はペアワークやグループワークを行いながら進める。教科書の指定ページを読み、授業前に印象に残ったこと、疑問点などを整理しておくこと (事前課題)。授業後は授業の感想・コメント、質問を記入して提出すること (事後課題)。 2. グループワークとして中上級指導について検討し、発表を行う (第11・12回)。発表後、フィードバックを参考に改善点をまとめる。 3. 授業で扱ったものの中から教授法の一つを選び、それについてレポートを作成する (最終レポート)。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】高見沢孟他著『新・はじめての日本語教育 2 日本語教授法入門』アスク出版、2016年※「日本語教授法Ⅰ」でも使用。 【参考書】国際交流基金 日本語教授法シリーズ (全14巻) ひつじ書房、2006～2011年		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 教え方についての理論が理解できたか。 2. 教え方について指導実践できたか。 ○評定の方法 [授業への出席、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への出席・受講態度 総合点の30% 2 期末試験 (レポート) 総合点の30% 3 課題・発表 総合点の40% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	この授業では、主に中上級指導について学ぶ。初級とは異なる中上級学習者の悩みや困難について考えながら、効果的な指導について検討する。中上級レベルでは、生の教材を使用することも多い。普段自分が目にする日本語や本、テレビ、映画なども、日本語を教える教材という視点から改めて見てほしい。		
13. オフィスアワー	初回の講義で通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション、レベル別・技能別の日本語指導とは	事前学習	日本語のレベル、初級・中級・上級の違いについて考えてくる。また、日本語の技能別指導にはどのようなものがあるか考えてくる。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第2回	第5章 中上級の教え方 (1) 会話/聴解 1. 中級レベルの教育 2. 中上級レベルの会話指導の目標 3. 中上級レベルの会話指導の内容	事前学習	教科書 pp. 98～104 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第3回	第5章 中上級の教え方 (1) 会話/聴解 4. コミュニケーション能力を育てる指導	事前学習	教科書 pp. 105～107 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第4回	第5章 中上級の教え方 (1) 会話/聴解 5. テレビドラマの指導	事前学習	教科書 pp. 108～111 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第5回	第5章 中上級の教え方 (1) 会話/聴解 6. ニュース番組の指導	事前学習	教科書 pp. 112～113 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第6回	第5章 中上級の教え方 (1) 会話/聴解 7. スピーチの指導	事前学習	教科書 pp. 114 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第7回	第6章 中上級の教え方 (2) 読解/情報収集 1. 読本を使った読解教育	事前学習	教科書 pp. 116～117 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第8回	第6章 中上級の教え方 (2) 読解/情報収集 2. 新聞を使った読解教育	事前学習	教科書 pp. 118～124 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第9回	第7章 中上級の教え方 (3) その他のクラスの指導 1. 通訳/翻訳の問題	事前学習	教科書 pp. 126～131 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第10回	第7章 中上級の教え方 (3) その他のクラスの指導 2. 文書作成の授業	事前学習	教科書 pp. 132～136 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。

第11回	グループワーク：グループで中上級指導について検討する	事前学習	中上級指導について、アイデアをまとめる。
		事後学習	グループでの話し合いの内容をまとめる。
第12回	グループ発表：中上級指導について	事前学習	プレゼンテーションに向けて準備・練習しておく。
		事後学習	フィードバックを参考に、発表内容について改善点をまとめる。
第13回	第9章 いろいろな外国語教授法 1. 外国語教授法の変遷 2. 直接法 3. オーディオ・リンガル・アプローチ 4. 広義のコミュニカティブ・アプローチ 5. TPR (Total Physical Response) 6. サイレント・ウェイ 7. CLL (Community Language Learning)	事前学習	教科書 pp. 150～165 を熟読しておく。
		事後学習	授業の疑問点、感想・コメントを書く。
第14回	第9章 いろいろな外国語教授法 8. ナチュラル・アプローチ 9. コミュニカティブ・アプローチ 10. サジェストペディア 11. 脱教授法時代 12. 内容重視の教授法 13. 共同言語学習法 14. タスク重視の言語教授法	事前学習	教科書 pp. 166～190 を熟読しておく。
		事後学習	ワークシートをまとめる（次回授業で提出）。授業で扱ったものの中から教授法を一つ選び、それについてレポートを作成する（最終レポート）。
第15回	これまでの授業の振り返り、最終レポートの準備	事前学習	これまでの学習内容を復習し、疑問点を明らかにしておく。
		事後学習	教科書、ワークシートを復習し、最終レポートを作成・提出する。